

Week of May 25, 2025 - For the Glory of God　　Small Group Lesson 23

知り合う

たとえ誰にも知られなくても、正しいことをすることは大切だと思いますか？
そうした経験をしたことがありますか？そのとき、どのように行動しましたか？

聖句　コリントの信徒への手紙一 10:14-11:1（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

14 私の愛する人たち、こういうわけですから、偶像礼拝を避けなさい。15 私は賢い人たちに話すように話します。私が言うことを自分で判断しなさい。16 私たちが祝福する祝福の杯は、キリストの血との交わりではありませんか。私たちが裂くパンは、キリストの体との交わりではありませんか。17 パンは一つだから、私たちは大勢でも一つの体です。皆が一つのパンにあずかるからです。18 肉によるイスラエルのことを考えてみなさい。いけにえを食べる人は、それが献げられた祭壇と交わる者になるのではありませんか。19 私は何を言おうとしているのでしょう。偶像に献げた肉とは何であるとか、偶像とは何であるとか、言おうとしているのでしょうか。20 そうではなく、彼らが偶像に献げる物は、神ではなく悪霊に献げている、と言っているのです。私は、あなたがたに悪霊と交わる者になってほしくありません。21 主の杯と悪霊の杯の両方を飲むことはできないし、主の食卓と悪霊の食卓の両方にあずかることもできません。22 それとも、主に妬みを起こさせるつもりですか。私たちのほうが、主よりも強いとでもいうのでしょうか。23 すべてのことが許されています。しかし、すべてのことが益になるわけではありません。すべてのことが許されています。しかし、すべてのことが人を造り上げるわけではありません。24 誰でも、自分の利益ではなく、他人の利益を求めなさい。25 市場で売っている物は、いちいち良心に問うことなく何でも食べなさい。26「地とそこに満ちるものは、主のもの」だからです。27 あなたがたが信仰のない人に招かれて、それに応じる場合、自分の前に出されるものは、いちいち良心に問うことなく何でも食べなさい。28 しかし、もし誰かが「これは、神殿に献げた肉です」と言うなら、そう知らせてくれた人のため、また良心のために、食べてはいけません。29「良心」と私が言うのは、自分の良心ではなく、他人の良心のことです。どうして私の自由が、他人の良心によって左右されることがあるでしょうか。30 私が感謝して食事にあずかるなら、私が感謝しているものについて、どうして悪口を言われるわけがあるでしょうか。31 だから、食べるにも、飲むにも、何をするにも、すべて神の栄光を現すためにしなさい。32 ユダヤ人にも、ギリシア人にも、神の教会にも、つまずきを与えないようにしなさい。33 私が、何事につけ、すべての人を喜ばせているようにです。私は、人々が救われるために、自分の利益ではなく、多くの人の利益を求めているのです。11:1 私がキリストに倣う者であるように、あなたがたも私に倣う者となりなさい。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか？

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. パウロはコリントの信徒に、何から逃れるようにと警告していますか？

2. 16節では、私たちはキリストとともに何か特別なものを分かち合うと述べています。私たちは何を分かち合っているのでしょうか? 17節では、人々は「一つの体」のようになると言っています。これはどういう意味ですか?

3. パウロは「すべてのことは許されている」と述べています。23節から28節で、パウロが示しているいくつかの指針とは何ですか？

4. 私たちが行うすべてのことにおいて、私たちの目標は何ですか？（31節）このことは、私たちの生き方に、どのように役に立つのでしょうか？

分かち合い

話し合い　その１：

武牧師は、スキーを習っていたときに、驚くべきプロのスキーヤーの動きを真似しようとはしませんでした。なぜなら、自分の技術では到底追いつけないと分かっていたからです。この話は、なぜパウロが「私を模範にしなさい」と言ったのかを説明する上で、どのようなヒントを与えますか？

私たちは完璧ではありませんが、それでも信仰の中で他の人を導く際に、模範を示すことが大切なのはなぜでしょうか？

話し合い　その2：

31節は、私たちは何をするにも「すべて神の栄光を現すためにしなさい」と述べています。「神の栄光を現すためにする」とは、私たちの日常生活の中では、どのようなことをすることだと思いますか？ 小さな例を一つ挙げてください。

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。